

第26回(2023年度)

七十七
ニュービジネス
助成金

BRIファーマ株式会社



代表取締役
福永 浩司 氏

●企業の概要

企業名：BRIファーマ株式会社
代表者：代表取締役 福永 浩司
住所：宮城県仙台市太白区鉤取3丁目2-20
ハイライズ鉤取104
設立年：2021年
業種：創薬、ヘルスケア
資本金：8百万円
従業員数：2名

●事業の概要

当社は、認知症予備軍を検出する血液検査サービス事業（軽度認知障害血液検査）を行う東北大学発ベンチャー企業。同時に認知症の発症原因とされるタンパク質を除去する根本治療薬候補を開発。今後、血液一滴で軽度認知障害を検知できる自己採血・微量計測システム（自己採血検査）を開発し、健康長寿社会に貢献することを目指す。

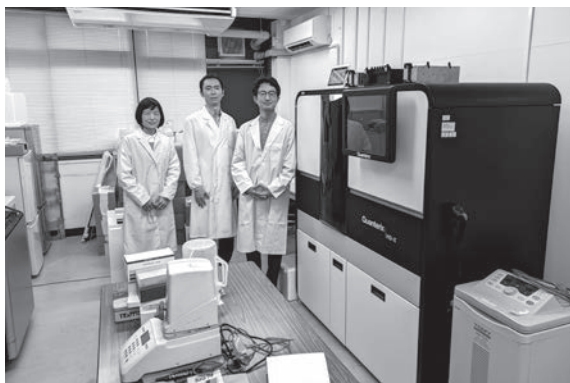


当社HP



学会風景

血液一滴で軽度認知障害を検知できる自己採血・微量計測システムを開発し、認知症リスクの早期発見と予防を通じ健康長寿社会への貢献を目指す



研究室の様子



中国からの留学生

●受賞の理由

日本の認知症患者は2025年に730万人に達する見込であり、脳機能障害を訴える認知症予備軍は400万人にのぼる。認知症は発症の20年前から認知症の原因タンパク質が脳に蓄積し、アルツハイマー病は嗅覚障害から始まり、レビー小体型認知症は胃腸障害から始まる。認知症の15%を占めるレビー小体型認知症では原因タンパク質が胃腸に蓄積し、20年の歳月をかけて脳に伝播して認知症が起こる。

当社は医療機関との共同研究において、認知症患者と認知症予備軍の患者から原因となるタンパク質の検出を確認。利用者の利便性を高めるため、また他のヘルスケア事業、サプリメント開発事業との連携を加速させるため血液一滴（自己採血検査）で検査する技術の開発に取り組んでいる。

当社が開発する血液一滴による認知症リスク診断は定期的かつ簡便に検査ができ、自分の脳健康をモニタリングすることが可能となる。他社の診断技術では少なくとも1mlの血液が必要であり医療機関での採血が必要となるのに対し、当社の検査は自己採血が可能であり、利用者は自宅で採血後、郵送で検査を依頼するため利便性が高く安価に利用することができる。

また、当社の認知症リスク診断は健康食品開発（サプリメント含む）やスポーツジム、グループ療法等の認知症予防に関する民間療法と組み合わせることで健康寿命を伸ばすことが可能と見込まれ、様々な事業への波及が見込まれること、そして認知症予備軍400万人という市場は今後の事業展開に大きな可能性を秘めているとともに、健康長寿の社会づくりに大いに貢献できるものと期待される。